



勝負師つぐみ、マスターズ優勝

第3回練板マスターズは6月12日(日)曇天の板橋平和公園で行われ、つぐみがミセス、げんたとの三つ巴戦を勝ちあがり、さらにマッチとの決勝三本勝負も制し、第3回練板マスターズ優勝を果たした。先月に続く立川四姉妹の優勝に成人男子からはため息が漏れた。女流王もつぐみちゃん、子ども王はげんただった。



げんた、つぐみちゃん おめでとう！

吾野の雄マッチ、ダントツの予選トップ通過！

練板マスターズは総当り戦だ。だから文字通り実力が問われる戦いだ。その中でマッチが2位以下を大きく引き離し、128点で予選をトップ通過した。アベレージは3.46、名人戦でもこれ程の高レベルの成績はない。去年までならこれで優勝だが、今回のルール改正で決勝三番勝負へのシード権に留まったのが惜しいところだ。そのマッチは吾野でベーゴマの会を主催している。前日も定例会だったが、その疲れも吹き飛んだことだろう。



巴戦はつぐみ、ミセス、げんたの戦いに

決勝三本勝負進出を賭けた巴戦はあっけない結果となった。予選4位のつぐみが、2位げんた、3位ミセスを寄せ付けず、ストレートで四本先取、一気に決勝進出を決めたのだ。昨年のGPを制した勝負魂は半端じゃない。度胸も据わってるね。



予選トップ通過のマッチ、目の前の大魚を逸す

成人男子でひとり気を吐いたのがマッチだ。今期決勝進出は三度目、決勝の常連となっている。ここでもみんなの熱い期待を一身に受け、まずは一本先取する。初優勝へ幸先が良い。このままつぐみを追い込みたいところだが、逆に手痛い一発を浴び同点に。しかも動揺したのか床はずしで、逆に崖っぷちに追い込まれる。こうなると勝負師つぐみにスキはない。立て続けに一発決め、一気に勝負をつける。その落ち着きぶりはどうだろう。すでに風格さえ漂よわせている。おめでとう、つぐみちゃん。惜しかったねマッチ。



子ども王は急成長げんた、女流はつぐみ

げんたが総当り戦で2位の大健闘だ。マッチから6点、ダーリンから5点など、その強さは本物だ。今期これで三度目の決勝進出、こちらも決勝の常連になっている。これじゃ成人男子が決勝に出られないわけだ。なお、女流はマスターズ優勝のつぐみが取った。



名人戦はダーリンがトップ、このまま行けるか

名人戦は6月場所を終えダーリン立川が73点でトップ。アベレージも上がって3.04だ。立川家でただ一人タイトルに縁のないダーリンだが、このビッグタイトルを取れば家長としての面目も立つ。このまま維持できるか注目だが、歴代のタイトル保持者との対戦は終えているだけに、急成長のげんた、きょうへいあたりに取りこぼしがないければ、あるいはという期待が持てる。不気味なのは対戦数が少ないがアベレージ3.82のマックスだろう。

